

MIYU
2027

Public University Corporation MIYAGI UNIVERSITY

令和9年度入学

宮城大学入試ガイド



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

Contents

総合型選抜

1. 選抜方法と日程	3
2. 総合型選抜はこんな方にオススメ！	3
3. 総合型選抜の概要	
(1) 出願書類	4
【看護学群】自己申告書①	5
自己申告書②	6
【事業構想学群】探究活動報告書	7
自己申告書	8
【食産業学群】探究活動報告書	9
自己申告書	10
(2) 第1次選考	11
(3) 第2次選考	11
面接	11

学校推薦型選抜

1. 選抜方法と日程	13
2. 学校推薦型選抜はこんな方にオススメ！	14
3. 面接の概要	14

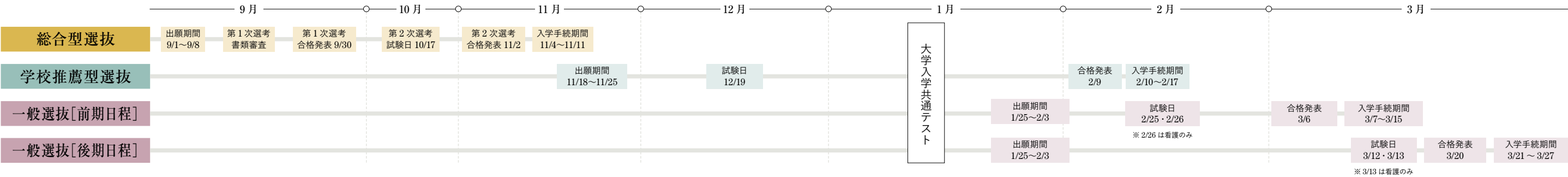
一般選抜〔前期日程・後期日程〕

1. 選抜方法と日程	15
2. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの科目等	15
3. 論説の概要	17
4. ペーパーインタビューの概要	17
5. 主体性等の評価	18

入学者選抜 Q & A

令和8年度入学 入試結果	21
令和8年度出身校所在地別志願者数・入学者数	21

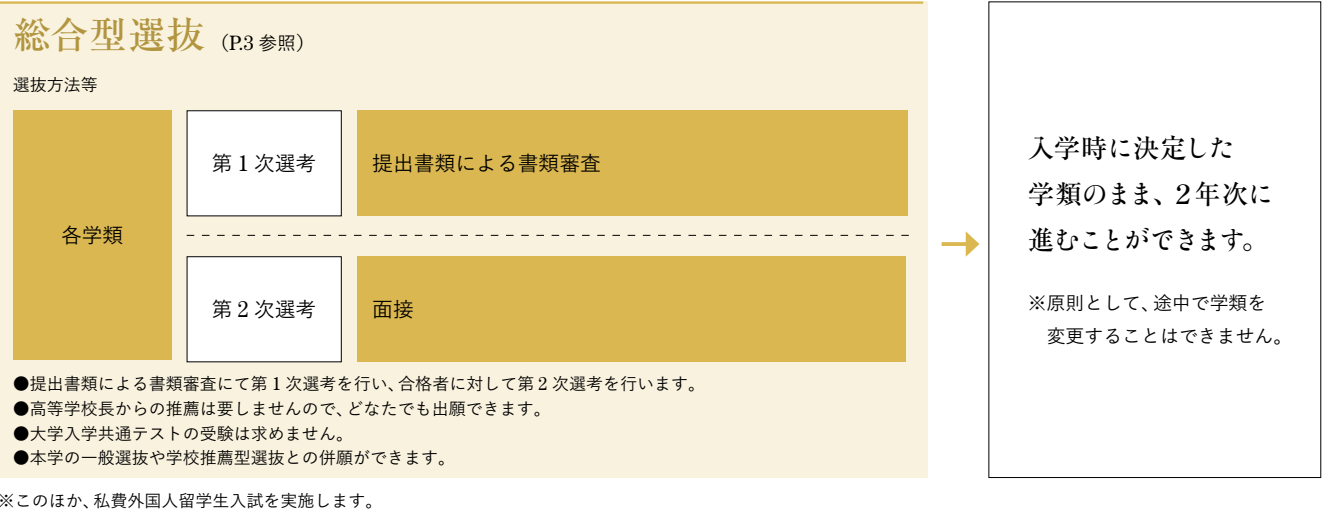
Schedule 令和9年度入学 入試スケジュール



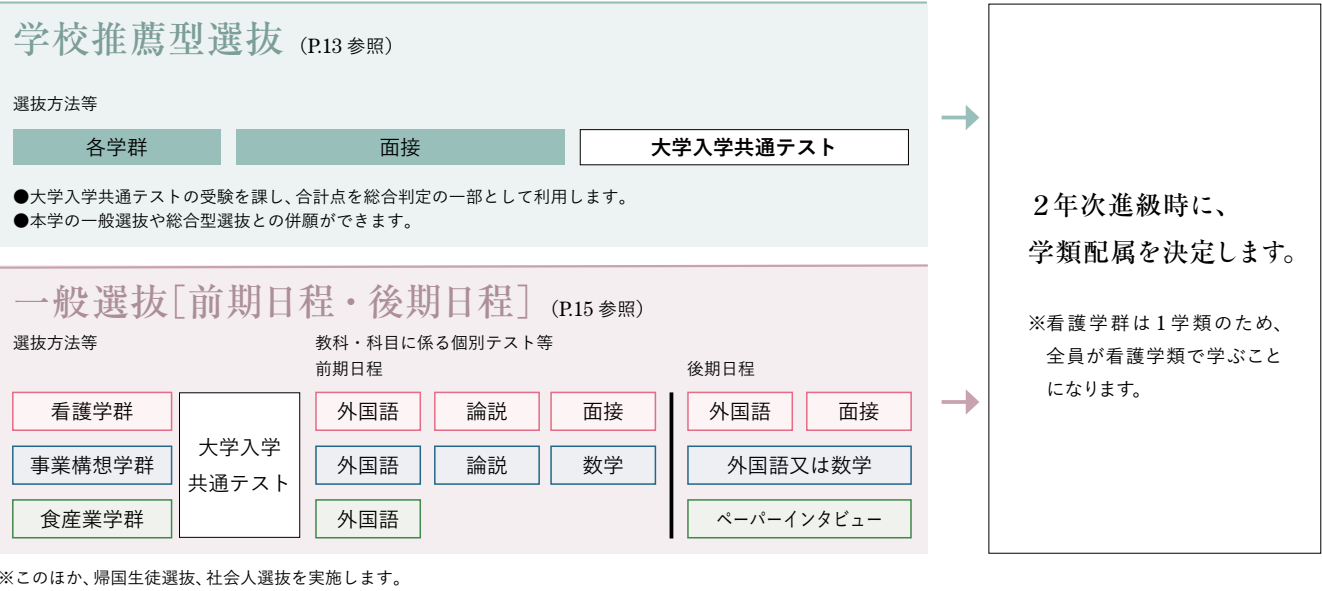
令和9年度入学 宮城大学入学者選抜概要

社会情勢等によりやむを得ず選抜方法や選抜日程に変更等が生じる場合は、速やかに本学ウェブサイトにて公表いたします。
<https://www.myu.ac.jp/admissions/colleges/>

学類単位の選抜



学群単位の選抜



総合型選抜

1 選抜方法と日程

募集人員	看護学群 ：看護学類 5 名 事業構想学群 ：事業プランニング学類 8 名 ／ 地域創生学類 8 名 ／ 価値創造デザイン学類 8 名 食産業学群 ：生物生産学類 8 名 ／ フードマネジメント学類 8 名	
出願期間	令和 8 年 9 月 1 日（火）～令和 8 年 9 月 8 日（火） 【期間内必着】	
第 1 次選考	第 1 次選考では、調査書及び出願書類により書類審査を行います。	
	自己申告書 〈出願時に受験者が作成〉	自己を推薦する文章及び学修計画に関する文章を作成する。
	探究活動報告書 〈出願時に受験者が作成〉	高校等での探究活動と活かしたい自身の力や姿勢について記述する。
	調査書 〈出願時に出身高校等で作成〉	高校等での学業成績や活動の記録・評価等を記載する。
第 1 次選考 合格発表	令和 8 年 9 月 30 日（水）	
第 2 次選考	第 2 次選考では、第 1 次選考に合格した方に対して、面接を実施します。	
	令和 8 年 10 月 17 日（土）	
	面接	高校までの基礎的な学習成果、志望する学類への意欲や資質を問う面接を行う。
第 2 次選考 合格発表	令和 8 年 11 月 2 日（月）	
その他	大学入学共通テストの受験は求めません。	

2 総合型選抜はこんな方にオススメ！

- ・大学で学びたいことや、進みたい学類が決まっている方
- ・学類での学修に対する強い意欲や高い資質のある方
- ・高等学校までの総合的な探究の時間等で、問題解決型の活動に意欲的に取り組んできた方

3 総合型選抜の概要

重視する「高校等での学習」の成果

総合的な探究の時間や各教科等での、①問題解決型の活動が発展的に繰り返される探究学習、②互いの考えを伝え合い、自身の考えを発展させる等、他者と協働して課題を解決する学習、③自ら得た情報を分析・評価し、まとめ、表現する学習等

例：総合的な探究の時間における探究活動や協働的な学習、各教科における探究的な学習、SSH での科学的探究活動、SGH でのグローバル探究学習、専門高校でのプロジェクト学習等

総合型選抜で評価する資質や能力

これまでの学習に基づく学力の基盤や、高校等での探究的活動に裏付けされた課題発見・解決能力に加えて、自身の興味や関心に基づいた、学類での学修に対する強い意欲や高い資質

（１）出願書類

自己申告書や探究活動報告書は受験者本人が作成したものを、調査書は高校等で作成されたものを提出してください。

【看護学群】	自己申告書①	自己申告書②
内容	これまで（主に高校等）の学習成果やそのことによって得た自身の強みについて、事実に基づいて示し、自己を推薦する文章を作成する。 ※ P.5 参照	志望する学類への興味や関心をもとに、志望する学群・学類を卒業した後の目標を実現するために「何を」「どのように」学びたいか、自身の学びの展望を提示し、学修計画を立てる。 ※ P.6 参照
「高校等での学習」の成果として重視する点	高校等での学びの実践を通して、主体的に学び考え、自ら課題を設定し、興味や関心を追究する力や態度が身についている。	見通しをもって、自身の興味や関心をよく整理した上で、入学後の目標を設定し、その実現に向けた道筋を計画する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	これまでの学習や活動の実績に裏付けられた自身の強みについて、根拠を提示しながら、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力。	自ら志望する学類への興味や関心をもとに、志望する専門分野の学問的意義や社会的位置付けを関連させながら志望する学群・学類を卒業した後の目標を設定し、その実現に向けた自身の展望を、根拠を提示しながら、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力。

【事業構想学群・食産業学群】	探究活動報告書	自己申告書
内容	高校等で自身が取り組んだ探究活動の内容と、そこでの経験を踏まえて、志望学類での学びにおいて特に活かしたいと考えている自身の力や姿勢について記述する。 ※ P.7、9 参照	志望する学類への興味や関心をもとに、志望理由や入学後の学修計画を具体的に記述する。また、自身のこれまでの活動や経験、関心をもつ分野や事柄について述べ、それらを踏まえて志望学類でどのように学びたいかを、学修への意欲とともに示す。 ※ P.8、10 参照
「高校等での学習」の成果として重視する点	高校等での探究活動の実践を通して、主体的に考え、課題について深く考察し、興味や関心を追究する力や態度が身についていること。	見通しをもって、自身の興味や関心をよく整理した上で、入学後の目標を設定し、その実現に向けた道筋を計画する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	探究課題の設定の経緯や活動内容及び自身の役割、並びに探究活動を通して得た学びを志望学類での学びに活かそうとする姿勢について、具体的かつ説得力のある文章で説明できる力。	志望する学類への興味や関心をもとに、志望理由や入学後の学修に対する目標および見通しが具体的に書かれているかを評価する。また、自身のこれまでの活動や経験、関心をもつ分野や事柄を踏まえて、志望学類でどのように学びたいかを、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力を評価する。

【全学群共通】調査書

評価する資質や能力	・高校等での学業成績（評定平均値を含む。）等の観点からみた学力の基盤。 ・調査書における「指導上参考となる諸事項」及び「総合的な探究の時間の記録（※）」やその他の記載事項からみた学習内容 等 （※）総合的な探究の時間を履修しなかった方（研究開発学校、専門学科等）については、総合的な探究の時間に代わる活動を記載した副申書をもって代えることができる。
-----------	--

【看護学群】

自己申告書① これまでの学習成果やそのことによって得た自身の強みを PR する。

作成にあたって

- ・学習成果とは、各教科の学習（総合的な探究の時間を含む。）、ホームルーム活動、生徒会活動及び学校行事での成果のことを指します。課外の部活動や学外活動（ボランティア活動等）について述べる場合も、各教科の学習（総合的な探究の時間を含む。）やホームルーム活動、生徒会活動及び学校行事と関連づけて書いてください。
- ・学習成果は、「～を経験した」「～ができた」「～の成果を残した」という事実や結果の列挙だけでなく、そこに至るまでの過程や、どのように考えて活動したか、また、それらを通して自分が何を学んだか等を具体的に書いてください。
- ・高等学校等での学習（例えば探究学習等）を通して得た「これだけは誰にも負けない」という自分の強みについて書いてください。
- ・他人の言葉や書籍・インターネットから引用するのではなく、自分の経験を踏まえ、自分の言葉で書いてください。

①あなたのこれまでの学習成果や、それによって得られた自分の強みについて、主体的に取り組み実践した過程を根拠に示しながら説明してください。その上で、文章に表題もつけてください。
(本文：800 字以内、表題：50 字以内)

(※令和 8 年度入学者選抜では学校法人河合塾の J-Bridge System を使用しました。画像は J-Bridge System のものです。令和 9 年度入学者選抜では変更が生じる場合があります。)

作成のポイント

- ・これまでの学習のなかで、課題を自分で見つけて、それを解決するための活動や情報収集を行った経験があれば、その過程を具体的に記載しよう。
- ・その結果、どのようなことが得られたのか、学習と得られたこととのつながりがわかるように記載しよう。
- ・学習の過程で、新しい気づきがあったか、自分の強みは何か、振り返って考えてみよう。自分を分析してみることが大切！
- ・ほかの人にはない自分の特徴をアピールしよう。

自己申告書② 入学後の学びの展望を示す。

作成にあたって

- ・単に「～を学びたい」「～をしたい」ということを書くのではなく、なぜその分野に興味を持ったのか、興味を持ったことに対してこれまでにどのような活動をしたのか等を具体的に書いた上で、入学後の学修に対する自らの展望を説明してください。
- ・志望する学群・学類が持つ学問的意義や社会的位置付けを明確にしながら、志望分野への強い意欲や、自ら積極的に学ぼうとする姿勢等を、自分の言葉で書いてください。
- ・大学での 4 年間の学びにとどまらず、大学卒業後の自分の将来の姿をイメージし、関連させながら書いてください。

②あなたが、志望する学群・学類を卒業した後の目標を実現するために、「何を」「どのように」学びたいのかを計画し、文章で書いてください。
(1,000 字以内)

(※令和 8 年度入学者選抜では学校法人河合塾の J-Bridge System を使用しました。画像は J-Bridge System のものです。令和 9 年度入学者選抜では変更が生じる場合があります。)

作成のポイント

- ・志望する分野に興味を持ったきっかけや理由を具体的に記載しよう。
- ・志望する分野に関連することについて、自分で活動したり、調べたりしたことがあれば、必ず記載しよう。
- ・大学での学びへの熱い思いを記載しよう。将来の「夢」だけでなく、入学後にいつ、何を、どのように学んでいくのかなど、できるだけ具体的に「計画」を立ててみよう。
- ・大学での学びは、社会ではどんな意味があるのか、調べてみよう。ウェブサイトでは研究内容の紹介もしているので、興味のある分野を覗いてみることもおすすめ！

【事業構想学群】

探究活動報告書 高校等での探究活動と、その経験を踏まえ、志望学類で活かしたい自身の力や姿勢を示す。

①これまでに自身が取り組んだ探究活動を一つ取り上げて、その内容を 300 字以内で述べてください。その際、探究活動の課題をどのように設定したか、および活動の中で自身がどのような役割を担ったかについても述べてください。

作成にあたって

- ・「探究活動」とは、総合的な探究の時間や課題研究等の授業のほか、教科の課題研究や学校内外で取り組んだ自主的な研究活動など、特定の課題について調査・分析・考察等を行った学習活動を含みます。
- ・高校等で取り組んだ探究活動の中から代表的なものを一つ選び、課題設定の経緯やその課題に取り組んだ背景が分かるように記述してください。
- ・探究活動の内容とともに、自身が果たした役割が分かるように記述してください。グループで取り組んだ場合は、その中での自身の役割が分かるように記述してください。
- ・他人の言葉や書籍・インターネットから引用するのではなく、自分の経験を踏まえ、自分の言葉で書いてください。

②探究活動を通して、自身にどのような変化があったかを述べてください。また、その経験から得た学びや、今後に向けて見通すことができた課題について、活動の過程を根拠にして説明してください。あわせて 300 字以内で述べてください。

作成にあたって

- ・探究活動に取り組む前と後で、自身の考え方や関心、行動などにどのような変化があったかが分かるように、具体的に記述してください。
- ・探究活動を通して得られた学びについて、活動のどのような過程や経験を通して得られたものかが分かるように具体的に記述してください。
- ・探究活動の経験を踏まえて見えてきた課題（活動の中で十分に組みこめなかった点や、さらに深めたいと考えた点など）や、さらに取り組んでみたいことについて記述してください。
- ・できるだけ活動の具体的な経験や場面に触れながら記述してください。

③ 探究活動を通して得た経験を踏まえて、志望学類での学びにおいて特に活かしたいと考えている自身の力や姿勢について、具体的な学修の場面を想定しながら 200 字以内で述べてください。

作成にあたって

- ・探究活動の具体的な経験と関連づけながら、志望学類での学びに活かしたいと考えている自身の力や姿勢について記述してください。

作成のポイント

- ・「探究活動」とは、総合的な探究の時間や課題研究等の授業のほか、学校内外で取り組んだ自主的な研究活動など、特定の課題について調査・分析・考察等を行う学習活動を指します。授業で提示されたテーマに基づいて取り組んだ活動も対象となりますので、自分が特に力を入れて取り組んだ活動の一つ選んで記載しよう。
- ・その活動について、どのようなきっかけや関心から課題に取り組んだのか、また活動の中で自分がどのような役割を果たしたのかが分かるように具体的に記載しよう。
- ・その活動を通して、自分の考え方や関心、行動にどのような変化があったかを振り返って考えてみよう。また、その活動のどのような過程を通してどのような学びが得られたのかが分かるように記載しよう。
- ・その活動を踏まえて、大学での学びにどのように活かしたいと考えているかについて、自分の言葉で整理してみよう。

自己申告書 志望学類への興味や関心をもとに、志望理由や入学後の学修計画等を示す。

①この学類を志願した理由について 300 字以内で記載してください。

作成にあたって

- ・なぜ本学類を志望したのかについて、自身のこれまでの経験や関心と関連づけながら具体的に記述してください。
- ・本学類で学びたい内容や関心をもった理由が分かるように示し、本学類での学修に対する強い意欲や主体的に学ぼうとする姿勢が伝わるように記述してください。

②大学に入学した後で、この学類でどのように学んでいきたいかを 300 字以内で記載してください。

作成にあたって

- ・入学後に本学類でどのような目標をもって学びたいと考えているかについて、具体的に記述してください。
- ・その目標を実現するために必要と考えている学びの内容を示し、本学類での学修に対する見通しが分かるように具体的に記述してください。

③あなたが関心をもっている地域社会の動向や現代社会の課題を一つ取り上げ、その内容と関心をもった理由について述べてください。また、それについてあなた自身がどのように考えているかを示すとともに、その関心をもとに取り組んできたこと、または今後取り組みたいと考えていることについて、300 字以内で述べてください。

作成にあたって

- ・自身が関心をもっている地域社会の動向や現代社会の課題を一つ取り上げて、その内容について具体的に記述してください。
- ・その課題等に関心をもった理由や背景を示すとともに、その課題等についてどのように考えているか、またその関心をもとに取り組んできた行動や取組（または今後取り組みたいこと）が分かるように記述してください。

作成のポイント

- ・志望する分野に興味を持ったきっかけや理由を具体的に記載しよう。
- ・志望する分野に関連することについて、自分で活動したり、調べたりしたことがあれば、必ず記載しよう。
- ・大学での学びへの熱い思いを記載しよう。将来の「夢」だけでなく、入学後にいつ、何を、どのように学んでいくのかなど、できるだけ具体的に「計画」を立ててみよう。
- ・大学での学びは、社会ではどんな意味があるのか、調べてみよう。ウェブサイトでは研究内容の紹介もしているので、興味のある分野を覗いてみることもおすすめ！

【食産業学群】

探究活動報告書 高校等での探究活動と、その経験を踏まえ、志望学類で活かしたい自身の力や姿勢を示す。

① 高等学校での「探究活動」でどのようなことを行ったか、また、その中であなた自身がどのような役割を果たしたか、150 字以内で述べてください。

作成にあたって

- ・高校での探究活動の内容や方法は、高校によってそれぞれ違います。自分のやってきた内容をわかりやすく整理して書いてください。
- ・探究活動の内容とともに、自身が果たした役割が分かるように記述してください。グループで取り組んだ場合は、その中での自身の役割が分かるように記述してください。

② 高等学校で行った「探究活動」で、他の科目とは違ってどういうことが身についたか、150 字以内で述べてください。

作成にあたって

- ・探究活動では、成功したり、上手くいかなかったり、結果はいろいろです。重要なのは、「そこで何を学んだか」です。具体的にどのようなことが身についたか、しっかり書きましょう。

③ 「探究活動」で学んだことを大学でどのように生かしたいか、具体的な例を示しながら 500 字以内で述べてください。

作成にあたって

- ・探究活動で学んだことを、入学後どのように生かすか、目標や手段、順番を整理して書いてください。
- ・他人の言葉や書籍・インターネットから引用するのではなく、自分の経験を踏まえ、自分の言葉で書いてください。

作成のポイント

- ・探究学習では、いろいろなことを学んだと思います。何を学び、何を得たのかわかりやすく書きましょう。
- ・大学での学びは、探究学習の延長線上にあります。大学での学習をイメージしながら書きましょう。
- ・探究活動の中では、役割分担があったと思います。その中で、自分がどのような役割を果たしたのか、しっかり書いてください。
- ・探究活動報告書を書くときには、誤字や脱字がないようにしましょう。探究活動報告書を書いたら、何度か見直しをしてください。

自己申告書 志望学類への興味や関心をもとに、志望理由や入学後の学修計画等を示す。

① この学類を志願した理由について 300 字以内で記載してください。

作成にあたって

- ・なぜ本学類を志望したのかについて、自身のこれまでの経験や関心と関連づけながら具体的に記述してください。
- ・本学類で学びたい内容や関心をもった理由が分かるように示し、本学類での学修に対する強い意欲や主体的に学ぼうとする姿勢が伝わるように記述してください。

② 大学に入学した後で、この学類でどのように学んでいきたいかを 300 字以内で記載してください。

作成にあたって

- ・入学後に本学類でどのような目標をもって学びたいと考えているかについて、具体的に記述してください。
- ・その目標を実現するために必要と考えている学びの内容を示し、本学類での学修に対する見通しが分かるように具体的に記述してください。

③ これまでに高等学校内外で、特に力を入れて活動してきた内容について、具体的な例を入れながら、300 字以内で述べてください。

作成にあたって

- ・これまでの活動実績について、高校での授業以外で、特に力を入れたことを具体的に書いてください。その際、対外的な発表や受賞などの実績があればあわせて書いてください。
- ・部活動や資格の取得などについても書いてください。

作成のポイント

- ・志望動機は、最大のアピールです。他の分野ではなく、その分野を選んだ理由を、自分の言葉でわかりやすく書きましょう。自分にしか書けない内容を入れると、説得力が増します。
- ・大学入学後、自分が積極的に学ぶ姿を想像しながら、どのように学ぶか計画を立ててみましょう。
- ・高校で頑張ってきたことは、積極的にアピールしましょう。学習以外の活動も重要です。
- ・自己申告書を書くときには、誤字や脱字がないようにしましょう。自己申告書を書いたら、何度か見直しをしてください。

(2) 第1次選考

第1次選考は書類選考とし、調査書及び出願書類の内容を総合的に評価し、第2次選考の受験者を選抜します。

(3) 第2次選考

第1次選考の合格者に対し、面接を実施します。第1次選考及び面接の評価結果を総合的に判定し、合格者を決定します。

総合型選抜における面接

面接の内容	基礎的な学習成果や探究活動に基づく、志望する学類での学修に対する意欲や資質を問う面接を行う。
「高校等の学習」の成果として重視する点	高校等での探究活動等の実践を通して、主体的に課題に取り組み、自ら考察を深め、その経験を入学後の学修につなげようとする力や態度が身についていること。
評価する資質や能力	高校までの基礎的な学習成果及び高校等における探究活動を通して得た学びに基づく、志望学類での学修に対する強い意欲や高い資質。

memo

学校推薦型選抜

1 選抜方法と日程

募集人員	看護学群：27名 事業構想学群：40名 食産業学群：28名
出願資格	令和9年度大学入学共通テストのうち指定する教科・科目をすべて受験し、次の(1)から(4)までのすべてに該当する者 (1) 高等学校または中等教育学校を令和9年3月に卒業見込みの者 (2) 志望する学群に対し、熱意と適性を有する者で、高等学校または中等教育学校の長が責任を持って推薦できる者 (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者 (4) 調査書の全体の評定平均値が、看護学群に入学を志願する者は4.0以上、事業構想学群又は食産業学群に入学を志願する者は3.8以上の者で、人物、学力とも特に優秀である者
推薦人数の概要	看護学群 推薦できる人数は、宮城県内の高等学校または中等教育学校からは1校あたり2人まで、宮城県外の高等学校または中等教育学校からは1校あたり1人とします。 事業構想学群・食産業学群 推薦できる人数は、宮城県内の高等学校または中等教育学校からは1校あたり各学群4人まで、宮城県外の高等学校または中等教育学校からは1校あたり各学群2人までとします。 ※詳細は令和9年度大学入学 入学者選抜要項を確認してください。
出願期間	令和8年11月18日(水)～令和8年11月25日(水) 【期間内必着】
令和9年度大学入学共通テスト	試験日：令和9年1月16日(土)・令和9年1月17日(日) 〈大学入学共通テストの利用教科・科目〉 【看護学群、食産業学群】

教科	国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語	情報	合計
配点	200	100【※1】	100【※2】	200	250【※3】	100	950
教科	科目及び選択方法						
国語	『国語』必須						
地理歴史・公民	『地理総合／歴史総合／公共』において2出題範囲を選択、又は『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目を選択						
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において2出題範囲を選択、又は『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目を選択						
数学	『数学Ⅰ、数学A』必須						
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』必須【※4】						
外国語	『英語(リスニングを含む。)]』必須						
情報	『情報Ⅰ』必須						

- 【※1】 地理歴史・公民において、『地理総合／歴史総合／公共』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点とみなします。地理歴史・公民を2科目(『地理総合／歴史総合／公共』(3つの出題範囲から2つを選択解答)と、『地理総合／歴史総合／公共』で選択解答したものと同じ名称を含まない1科目を受験した場合を含む。)受験した場合は、得点の高い科目の成績を採用します。
- 【※2】 理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点とみなします。理科を2科目(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(4つの出題範囲から2つを選択解答)と、基礎を付さない1科目を受験した場合を含む。)受験した場合は、得点の高い科目の成績を採用します。
- 【※3】 リーディングとリスニングの配点比率を4:1とします。なお、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を換算します。
- 【※4】 「数学B」及び「数学C」については、数列(数学B)、統計的な推測(数学B)、ベクトル(数学C)及び平面上の曲線と複素数平面(数学C)の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

【事業構想学群】

教科	国語	数学	外国語	地理歴史・公民	理科	情報	合計
配点	200	200	200	300【※1】※2【※3】			900
教科	科目及び選択方法				【※1】 地理歴史・公民、理科、情報において、1科目の得点を150点に換算し、2科目の合計を300点とします。なお、2教科2科目以上を受験した場合は、指定された教科・科目のうち、得点の高い2教科2科目を採用します。 【※2】 地理歴史・公民において、『地理総合／歴史総合／公共』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。 【※3】 理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。 【※4】 「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学C）の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。		
国語	『国語』必須						
数学	『数学Ⅰ，数学A』必須						
	『数学Ⅱ，数学B，数学C』必須【※4】						
外国語	『英語（リスニングを含む。）』必須						
地理歴史・公民	『地理総合／歴史総合／公共』において2出題範囲を選択、又は『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から1科目選択 地理歴史・公民、理科、情報から2教科2科目を選択						
理科							
情報					情報のうち、『情報Ⅰ』を選択		

- 【※1】 地理歴史・公民、理科、情報において、1科目の得点を150点に換算し、2科目の合計を300点とします。なお、2教科2科目以上を受験した場合は、指定された教科・科目のうち、得点の高い2教科2科目を採用します。
- 【※2】 地理歴史・公民において、『地理総合／歴史総合／公共』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。
- 【※3】 理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。
- 【※4】 「数学B」及び「数学C」については、数列(数学B)、統計的な推測(数学B)、ベクトル(数学C)及び平面上の曲線と複素数平面(数学C)の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

選抜期日	面接実施日：令和8年12月19日(土)
選抜方法	大学入学共通テストの合計点、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類の内容及び面接の成績を総合的に判定します。
合格発表	令和9年2月9日(火)

2 学校推薦型選抜はこんな方にオススメ！

- ・リーダーシップを発揮し、率先して様々な活動に取り組める方
- ・大学に入学してから、自分の進みたい道(学類)を決めたい方
- ・高校までの、偏りなく幅広く、継続した学習の成果が身についている方

3 面接の概要

評価する資質や能力	高校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質。
-----------	-------------------------------------

一般選抜〔前期日程・後期日程〕

1 選抜方法と日程

募集人員	看護学群：前期 48 名／後期 10 名 事業構想学群：前期 100 名／後期 20 名 食産業学群：前期 62 名／後期 12 名
------	--

令和 9 年度 大学入学 共通テスト	令和 9 年 1 月 16 日（土）・令和 9 年 1 月 17 日（日）
--------------------------	---------------------------------------

出願期間	令和 9 年 1 月 25 日（月）～令和 9 年 2 月 3 日（水） 【期間内必着】
------	--

教科・科目に係る個別テスト	【前期日程】 令和 9 年 2 月 25 日（木） 看護学群：外国語（英語）、論説 事業構想学群：外国語（英語）、論説、数学 食産業学群：外国語（英語）	令和 9 年 2 月 26 日（金） 看護学群：面接
	【後期日程】 令和 9 年 3 月 12 日（金） 看護学群：外国語（英語） 事業構想学群：外国語（英語）又は数学 食産業学群：ペーパーインタビュー	令和 9 年 3 月 13 日（土） 看護学群：面接

選抜方法	大学入学共通テスト、学群毎の教科・科目に係る個別テストの成績を基本として調査書等の内容を総合的に判定して行いますが、合否判定に用いる教科等において、得点のない教科等があった場合は合格者とはなりません。看護学群では、面接の評価が一定の基準に満たない場合は、合格対象から除外されます。事業構想学群及び食産業学群では、主体性等の評価は配点に含めず、合否ラインで志願者が同点で並んだ場合、活動実績報告書による評価が高い志願者を優先的に合格とします。
------	--

合格発表	前期：令和 9 年 3 月 6 日（土） 後期：令和 9 年 3 月 20 日（土）
------	---

2 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの科目等

看護学群		
大学入学共通テストの利用教科・科目等		教科・科目に係る個別テスト等
教科	科目及び選択方法	（前期日程） 『外国語』 『論説』 『面接』 （後期日程） 『外国語』 『面接』
国語	『国語』必須	
地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から 1 科目を選択	
理科〔※ 1〕	次の (1) 又は (2) のいずれか (1) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において、「地学基礎」を除くいずれか 2 出題範囲を選択 かつ『物理』『化学』『生物』から 1 科目を選択 (2) 『物理』『化学』『生物』から 2 科目を選択	
数学〔※ 2〕	『数学Ⅰ、数学 A』必須	
	『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』必須	
外国語	『英語（リスニングを含む。）』必須	
情報	『情報Ⅰ』必須	
6 教科 8 科目		
大学入学共通テスト利用教科・科目における注意事項		
〔※ 1〕・基礎を付した出題範囲と基礎を付していない科目について、同一名称を含むもの同士の選択を認めます。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から 2 出題範囲を選択解答してください。		
〔※ 2〕「数学 B」及び「数学 C」については、数列（数学 B）、統計的な推測（数学 B）、ベクトル（数学 C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学 C）の 4 項目のうち 3 項目の内容の問題を選択解答してください。		

事業構想学群		
大学入学共通テストの利用教科・科目等		教科・科目に係る個別テスト等
教科	科目及び選択方法	（前期日程） 『外国語』 『論説』 『数学』 （後期日程） 『外国語』又は『数学』の いずれか 1 教科を選択
国語	『国語』必須	
数学〔※ 1〕	『数学Ⅰ、数学 A』必須 『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』必須	
外国語	『英語（リスニングを含む。）』必須	
地理歴史 公民〔※ 2〕 理科〔※ 3〕 情報	地理歴史・公民のうち、『地理総合／歴史総合／公共』において 2 出題範囲を選択、又は『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から 1 科目を選択	
	理科のうち、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において 2 出題範囲を選択、又は『物理』『化学』『生物』『地学』から 1 科目を選択	
	情報のうち、『情報Ⅰ』を選択	
5 教科 6 科目		
大学入学共通テスト利用教科・科目における注意事項		
〔※ 1〕「数学 B」及び「数学 C」については、数列（数学 B）、統計的な推測（数学 B）、ベクトル（数学 C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学 C）の 4 項目のうち 3 項目の内容の問題を選択解答してください。		
〔※ 2〕『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」から 2 出題範囲を選択解答してください。		
〔※ 3〕『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から 2 出題範囲を選択解答してください。		

食産業学群		
大学入学共通テストの利用教科・科目等		教科・科目に係る個別テスト等
教科	科目及び選択方法	（前期日程） 『外国語』 （後期日程） 『ペーパーインタビュー』
国語	『国語』必須	
数学〔※ 1〕	『数学Ⅰ、数学 A』必須 『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』必須	
外国語	『英語（リスニングを含む。）』必須	
地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から 1 科目を選択	
理科〔※ 2〕	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において、「地学基礎」を除くいずれか 2 出題範囲を選択 又は『物理』『化学』『生物』から 1 科目を選択	
情報	『情報Ⅰ』必須	
6 教科 7 科目		
大学入学共通テスト利用教科・科目における注意事項		
〔※ 1〕「数学 B」及び「数学 C」については、数列（数学 B）、統計的な推測（数学 B）、ベクトル（数学 C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学 C）の 4 項目のうち 3 項目の内容の問題を選択解答してください。		
〔※ 2〕『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から 2 出題範囲を選択解答してください。		

入学者選抜Q & A

●総合型選抜に関すること

Q 1 総合型選抜では、学校長の推薦書が不要となっていますが、高校等の卒業見込み者だけでなく、既に高校等を卒業した者でも出願できますか。

A 1 総合型選抜の出願資格は、学校推薦型選抜と異なり、必ずしも高校等の卒業見込み者であることを求めているわけではありません。令和 9 年度入学者選抜では、平成 16 年 4 月 2 日以後に出生し、他に定める要件を満たす方であれば、出願を認めます。

Q 2 調査書の評定はどのくらい必要ですか。

A 2 総合型選抜では、出願要件として調査書の評定基準を設けていません。評定だけではなく、調査書の内容を総合的に評価します。

Q 3 看護学群における自己申告書①に記載できるのは、学習の成果だけですか。部活動等について記載しても評価されないのでしょうか。

A 3 学習成果（各教科の学習、ホームルーム活動、生徒会活動及び学校行事での成果）を評価対象としています。部活動や校外での活動を除外するものではありませんが、「学習成果」と関連付けて記載してください。

Q 4 総合型選抜で入学することのメリットは何ですか。

A 4 総合型選抜の合格者は、入学時から学類が決定しているため、1 年次から、各学類の 2 年次からの専門的な学びを見通した学修に取り組むことができます。

Q 5 学校推薦型選抜・一般選抜との併願はできますか。

A 5 本学の学校推薦型選抜・一般選抜にも出願することができます。ただし、総合型選抜に合格し、入学手続を済ませた後は、他の選抜試験を受験しても合格者とはなりません。

●学校推薦型選抜に関すること

Q 6 総合型選抜・一般選抜との併願はできますか。

A 6 本学の総合型選抜・一般選抜にも出願することができます。ただし、学校推薦型選抜に合格し、入学手続を済ませた後は、他の選抜試験を受験しても合格者とはなりません。なお、他の国公立大学の学校推薦型選抜とは併願できませんので、注意してください。

Q 7 大学入学共通テストの得点はどのように扱われますか。

A 7 大学入学共通テストの合計点は、出願書類の内容及び面接の成績とともに、総合的な合否判定に利用します。

●一般選抜に関すること

Q 8 教科・科目に係る個別テストにおける数学の出題範囲を教えてください。

A 8 事業構想学群において課される数学では、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学 A」「数学 B(数列, 統計的な推測)」「数学 C(ベクトル)」から出題します。

令和 8 年度入学 入試結果

入試の単位	区 分	学群	学類	募集人員	出願者数	第 1 次選考 受験者数	第 1 次選考 合格者数	第 1 次選考 実質 競争倍率	第 2 次選考 受験者数	第 2 次選考 合格者数	第 2 次選考 実質 競争倍率	実質競争 倍率 (全体)	入学者数
学類単位の 選抜	総合型選抜	看護学群	看護学類	8	78	78	27	2.9	27	8	3.4	9.8	8
		事業構想学群	事業プランニング学類	8	38	38	23	1.7	23	10	2.3	3.8	10
			地域創生学類	8	32	32	18	1.8	18	8	2.3	4.0	8
			価値創造デザイン学類	8	32	32	21	1.5	21	9	2.3	3.6	9
		食産業学群	生物生産学類	8	11	11	10	1.1	10	6	1.7	1.8	6
			フードマネジメント学類	8	28	28	23	1.2	23	8	2.9	3.5	8

入試の単位	区分	学群	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	実質競争 倍率	入学者数
学群単位の 選抜	学校推薦型 選抜	看護学群	24	86	85	32	2.7	32
		事業構想学群	40	112	107	55	1.9	55
		食産業学群	28	51	51	33	1.5	33
	一般選抜 (前期)	看護学群	48	156	119	50	2.4	47
		事業構想学群	100	319	261	117	2.2	115
		食産業学群	62	204	172	74	2.3	71
	一般選抜 (後期)	看護学群	10	126	37	10	3.7	10
		事業構想学群	20	340	119	20	6.0	16
		食産業学群	12	243	65	13	5.0	8

令和 8 年度出身校所在地別志願者数・入学者数

出身校 所在地	看護学群						事業構想学群						食産業学群					
	志願者数			入学者数			志願者数			入学者数			志願者数			入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
北海道	0	5	5	0	2	2	3	4	7	1	2	3	2	8	10	0	2	2
青森県	2	16	18	1	6	7	11	29	40	1	10	11	6	22	28	2	6	8
岩手県	0	33	33	0	8	8	28	43	71	12	10	22	8	18	26	2	8	10
宮城県	9	283	292	0	62	62	290	291	581	67	71	138	124	120	244	30	34	64
秋田県	0	13	13	0	2	2	10	27	37	3	5	8	2	16	18	1	5	6
山形県	3	23	26	1	5	6	16	29	45	2	5	7	1	18	19	0	4	4
福島県	1	39	40	0	9	9	16	32	48	2	9	11	12	37	49	2	9	11
東北 6 県	15	407	422	2	92	94	371	451	822	87	110	197	153	231	384	37	66	103
関東	2	6	8	0	1	1	13	11	24	1	4	5	27	43	70	3	3	6
中部	0	6	6	0	0	0	8	12	20	4	4	8	20	39	59	4	6	10
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	1	1	2
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	1	0	1
九州・沖縄	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	0	2	2
その他	0	2	2	0	0	0	2	3	5	0	0	0	3	2	5	0	1	1
合計	17	430	447	2	95	97	397	481	878	93	120	213	210	331	541	46	81	127

入学者選抜に関する問い合わせは

宮城大学 アドミッションセンター

大和キャンパス／〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

TEL.022-377-8333 FAX.022-377-8282

宮城大学ウェブサイト <https://www.myu.ac.jp/>